

課題名	脳深部刺激療法における臨床工学技士のかかわり
	<ul style="list-style-type: none"> (1) 新規に導入される医療 (2) 保険診療の対象とならない医療 (3) 患者に不利となる可能性のある医療 (4) その他
研究責任者	室 裕子
概要	<p>第 35 回日本臨床工学会 2025 年 5 月 17.18 日にてポスター発表。</p> <p>近年開催の臨床工学会では、機能神経外科に携わる演題が毎年数件程度挙がるようになった。臨床工学技士の業務としては、狭い領域ではあるが認識されつつある。</p> <p>当院では 2015 年より機能外科手術が行われるようになり、臨床工学技士 2 名が手術、入院、外来の患者とかかわってきた。2015 年 4 月から 2024 年 10 月の期間において、脳深部刺激療法に限定して臨床工学技士の業務を抽出する。当院の患者属性としての性別、年齢、疾患などは個人を特定できないよう配慮する。手術件数や脳深部刺激装置の機種等の集計、レントゲン画像等の提示を行う。</p> <p>前任者の業務については手術記録やメジカルビュー社「メディカルチームのためのニューロモデュレーション治療完全ガイドブック」より反映する。</p>